

beat



beat-box-mini2  
ユーザーズガイド

- Microsoft、Windows、Internet Explorer および Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apple、Macintosh、Mac および MacOS は、Apple Inc. の商標です。
- Yahoo! および Yahoo!、Y! のロゴマークは、米国 Yahoo! Inc. の登録商標または商標です。
- 一太郎は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- その他の製品名、会社名は各社の登録商標または商標です。

本書のなかで  と表記されている事項は、安全にご利用いただくための注意事項です。必ず操作を行う前にお読みいただき、指示をお守りください。

コンピューターウイルスや不正侵入などによって発生した障害については、弊社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

万一本体の記憶媒体（ハードディスク等）に不具合が発生した場合、受信したデータ、蓄積されたデータ、設定登録されたデータ等が消失することがあります。データの消失による損害については、弊社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

お客様が使用するブロードバンド回線の実効速度が 300kbps を下回った場合、本サービスを提供できない場合があります。また、オプションサービスを使用する場合には、当社は別途回線速度についての条件を設けることがあります。

#### ご注意

- ① 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはおやめください。
- ② 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- ③ 本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。
- ④ 本書に記載されていない方法で機械を操作しないでください。思わぬ故障や事故の原因となることがあります。万一故障などが発生した場合は、責任を負いかねることがありますので、ご了承ください。
- ⑤ 本製品は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。  
また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が科せられることがあります。

XEROX、そのロゴと“コネクティング・シンボル”のマーク、および ApeosPort は、米国ゼロックス社または富士ゼロックス株式会社の登録商標または商標です。

DocuWorks は、富士ゼロックス株式会社の商標です。

# はじめに

---

---

このたびは、beat サービスをご利用いただき、まことにありがとうございます。

本書は、beat サービスの専用ハードウェアである、beat-box-mini2（以降、本機器と呼ぶことがあります）を安全にお使いいただくための注意や、各部の名称や働きについて説明しています。本機器をお使いになる前に、必ず本書をお読みください。また、操作がわからないときや困ったときに、読み直してご活用ください。

本機器はハードディスクを内蔵しているため、電源オン・オフの方法や設置条件などが通常のネットワーク機器とは若干異なりますので、必ず本書の指示に従ってください。

なお、本書の内容は、お使いのパーソナルコンピュータの環境や、ネットワーク環境の基本的な知識や操作方法を習得されていることを前提に説明しています。お使いのパーソナルコンピュータについての操作方法については、パーソナルコンピュータに付属の説明書をお読みください。

本機器を使用するサービスに関するユーザズガイドやマニュアルなどについては、以下を参照してください。

<http://www.net-beat.com/support/manual/>

富士ゼロックス株式会社

# 目次

---

---

はじめに .....	3
目次 .....	4
マニュアル体系 .....	5
本書の使い方 .....	6
安全にご利用いただくために .....	8
規制について .....	13
同梱物の確認 .....	14
□各部の名称と働き .....	15
前面 .....	15
背面 .....	16
上面 .....	17
□インジケータについて .....	18
インジケータ .....	18
インジケータが表す動作状態と対処方法 .....	18
□電源オン・電源オフの方法 .....	21
電源オンの方法 .....	21
電源オフの方法 .....	22
□主な仕様 .....	24
beat-box-mini2 .....	24
索引 .....	25

# マニュアル体系

---

---

次のマニュアルを用意しています。

## beat-box-mini2 ユーザーズガイド（本書）

beat-box-mini2 を安全にご利用いただくための注意事項、各部の名称、および電源の入れ方や切り方、インジケータの見方について記載しています。安全にご利用いただくための注意事項は、操作を行う前に必ずお読みください。

## beat/entry サービス ユーザーズガイド（beat-box-mini2 用）

beat/entry サービスをご利用いただくために必要な、本機器のセットアップ方法や注意、beat/entry サービスの紹介、利用方法、困ったときの対処方法などを説明しています。操作を行う前に必ずお読みください。

- 本機器を使用するサービスに関する、その他のユーザーズガイドやマニュアルなどについては、以下を参照してください。

<http://www.net-beat.com/support/manual/>

# 本書の使い方

---

---

本機器の性能を十分に発揮させ効果的にご利用いただくために、本書を最後までお読みください。本書は、読み終わったあとも必ず保管してください。

本機器をご使用中に操作でわからないことや不具合が出たときは、オンラインヘルプもあわせてご活用ください。

## 本書の構成

次の構成になっています。

### 安全にご利用いただくために

本機器を安全にご利用いただくために、本機をご使用になる前に、知っておいていただきたいことについて説明しています。

### 各部の名称と働き

本機器の各部の名称と働きについて説明しています。

### インジケーターについて

インジケーターの見方と対処が必要な場合の対処方法について説明しています。

### 電源オン・電源オフの方法

本機器の電源オンと電源オフの方法について説明しています。

### 主な仕様

本機器の主な仕様について説明しています。

## 本書の表記

説明する内容によって、次の記号を使用しています。



注意すべき事項を記述しています。必ずお読みください。



補足事項を記述しています。



マニュアルへの参照を記述しています。



操作手順を記述しています。



操作手順の中で、場合分けするときのタイトルを記述しています。

本書では、操作ボタンやダイアログボックスなどを次のように記述しています。

- [ ] ボタンや項目、メニューの選択項目など、クリックして選択できるものには [ ] でくります。また、ダイアログボックス名なども [ ] でくります。  
例： [スタート] ボタン、 [ネットワークダイアログボックス]
- 『 』 入力する文字は『 』 でくります。  
例： 『workgroup 』
- < > 利用者ごとに異なる文字列は< >でくります。  
例： <ログインした人の名前>

## 本書の内容についての注意

- 本書に記載されている操作手順、画面やメッセージは、お使いの PC にインストールされている OS バージョンによって異なることがあります。
- 本書に記載されている操作手順の説明で用いている、シリアル番号やIP アドレス、ドメイン名、メールアドレス、パスワードなどは設定例です。実際にお客様が設定する文字列とは異なります。
- 本サービスの機能、操作方法、画面やメッセージは予告なく変更される場合があります。

# 安全にご利用いただくために

本機を安全にご利用いただくために、本機をご使用になる前に必ず「安全にご利用いただくために」を最後までお読みください。

お買い上げいただいた製品は、厳しい安全基準、環境基準に則って試験され、合格した商品です。常に安全な状態でお使いいただけるよう、下記の注意事項に従ってください。



**警告**

新機能の追加や外部機器との接続など、許可なく改造を加えた場合は、保証の対象とならない場合がありますのでご注意ください。詳しくは、beat コンタクトセンターへお問い合わせください。

各警告図記号は以下のような意味を表しています							
<b>危険</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があり、かつその切迫の度合いが高いと思われる事項があることを示しています。						
<b>警告</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があると思われる事項があることを示しています。						
<b>注意</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負うことが想定される内容および物的損害の発生が想定される事項があることを示しています。						
△ 記号は、製品を取り扱う際に注意すべき事項があることを示しています。指示内容をよく読み、製品を安全にご利用ください。							
静電気 破損注意	注意	発火注意	破裂注意	感電注意	高温注意	回転物 注意	指挟み 注意
⊘ 記号は、行ってはならない禁止事項があることを示しています。指示内容をよく読み、禁止されている事項は絶対に行わないでください。							
禁止	火器禁止	接触禁止	風呂等での 使用禁止	分解禁止	水ぬれ 禁止	ぬれ手 禁止	
● 記号は、必ず行っていただきたい指示事項があることを示しています。指示内容をよく読み、必ず実施してください。							
指示	電源プラグを 抜け	アース線を 接続せよ					

## 設置および移動に関する警告や注意



**警告**



装置の前面、背面には給排気口があります。給排気口をふさぐと内部に熱がこもり、誤動作、故障、火災の原因となるおそれがあります。



装置の使用環境は次のとおりです。

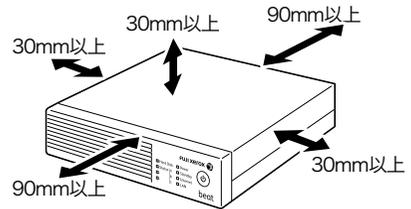
- ・温度 : 5 ~ 35 °C
- ・湿度 : 20 ~ 80%

この範囲外の環境では、誤動作、故障の原因となるおそれがあります。



装置は必ず横置きに設置してください。また、装置を安全に正しく使用し、装置の性能を維持するために以下の設置スペースを確保してください。

- ・背面と壁や棚板などの最低距離 : 90mm
- ・前面と壁や棚板などの最低距離 : 90mm
- ・側面と壁や棚板などの最低距離 : 30mm
- ・上面と壁や棚板などの最低距離 : 30mm



装置の定格電圧 100V、および、定格電流 15A より容量の大きい電源コンセントに接続してください。



電源の延長コードを使用する場合は、定格電圧 125V、および、15A 未満のものは使用しないでください。発熱による火災の原因となるおそれがあります。



同梱、または、弊社が指定した専用電源アダプターおよび電源コード以外は使用しないでください。発火、感電のおそれがあります。  
また、専用電源コードをほかの機器に使用しないでください。



装置は、電源コードの上を人が踏んで歩いたり足で引っ掛けたりするような場所には設置しないでください。発熱による火災や感電の原因となるおそれがあります。なお、電源プラグをすぐ抜けるよう、コンセントの周りには物を置かないでください。

## 注意



以下のような場所には装置を設置しないでください。

- ・発熱器具に近い場所
- ・揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすいものの近く
- ・高温、多湿の場所や換気が悪くホコリの多い場所
- ・直射日光の当たる場所
- ・調理台や加湿器のそばなど



装置は、装置の重さに耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。装置の転倒や落下などによりケガの原因となるおそれがあります。



装置を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源コードが傷つき、発熱による火災や感電の原因となるおそれがあります。



機器の電線やケーブルを束ねるためにケーブルタイやスパイラルチューブ等を使う場合は、弊社から提供される部品をご利用ください。弊社の提供品以外のご使用は事故の原因となる場合があります。

## 利用上の警告や注意

### 警告



電源オフは、本書の「電源オン・電源オフの方法」に従い、むやみに電源コードや電源アダプターを抜いて停止させないでください。ハードディスクの故障や、データの消失の原因になります。



次のようなときには、電源をオフにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、弊社の beat コンタクトセンターまたは販売会社にご連絡ください。そのまま使用を続けると火災や感電の原因となるおそれがあります。

- ・ 装置から発煙したり、装置の外側が異常に熱くなったとき
- ・ 異常な音やにおいがするとき
- ・ 電源コードが傷ついたり、破損したとき
- ・ ブレーカーやヒューズなど部屋の安全装置が働いたとき
- ・ 装置の内部に異物（金属片、水、液体）が入ったとき
- ・ 装置が水をかぶったとき
- ・ 装置の部品に損傷があったとき



本書に明記されていない作業は危険ですので、絶対に行わないでください。



この装置はお客様が危険な箇所に触らないよう設定されています。危険な箇所はカバーなどで保護されていますので、ネジで固定されているパネルやカバーなどは、絶対に開けないでください。感電やケガ、装置の破損の原因となるおそれがあります。



装置に内蔵しているハードディスクを抜いたり、他のハードディスクと交換したりしないでください。サービスの停止、ハードディスクの故障、データの消失の原因となるおそれがあります。



装置のイーサネットポート（LAN、Internet）以外のコネクタは利用できません。利用できないコネクタに周辺機器を接続しないでください。装置故障、誤動作、データの消失の原因となるおそれがあります。



装置を改造したり、部品を変更して使用しないでください。火災の原因となるおそれがあります。



装置の隙間や通気口に物を入れないでください。また、以下のものは、装置の上に置かないでください。

- ・ 花瓶やコーヒーカップなどの液体の入ったもの
- ・ クリップやホチキスの針などの金属類
- ・ 重いもの

液体がこぼれたり、金属類が隙間から入り込むと装置内部がショートし、火災や感電の原因となるおそれがあります。



本サービスを航空機や列車等の交通制御、原子力発電所制御、人命に関わる医療機器制御などの極めて高い信頼性を要求される用途には使用しないでください。



雷鳴が聞こえるときには、スプリッター、モデム、ルーター、電話の配線作業は行わないでください。落雷による感電のおそれがあります。



電源プラグは絶対にぬれた手で触らないでください。感電の原因となるおそれがあります。



電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線）、弊社の beat コンタクトセンターまたは販売会社に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となるおそれがあります。



電源プラグやコンセントに付着したホコリは、必ず取り除いてください。そのまま使用していると、湿気などにより表面に微小電流が流れ、発熱による火災の原因となるおそれがあります。



電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したりしないでください。引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、発熱による火災や感電の原因となるおそれがあります。



電源コードにものを載せないでください。



電池は、明記されたものをご使用ください。明記された以外の電池と交換した場合、爆発の危険があります。使用済み電池は、取り扱い指示に従って処分してください。

## 注意



装置の電源を入れたままでコンセントから電源プラグを抜き差ししないでください。アークによりプラグが変形し、発熱による火災の原因となるおそれがあります。



装置の上にものを載せないでください。装置に内蔵しているハードディスクの動作異常や、装置の変形の原因になります。



1 か月に一度は、次のような点検をしてください。

- ・電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。
- ・電源プラグに異常な発熱およびサビ、曲がりなどはありませんか。
- ・電源プラグやコンセントに細かいホコリがついていませんか。
- ・電源コードにき裂やすり傷などはありませんか。

異常な点にお気づきの場合はただちに使用を中止し、電源をオフにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、弊社の beat コンタクトセンターまたは販売会社までご連絡ください。



電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っばるとコードが傷つき、火災、感電の原因となるおそれがあります。



機械の性能の劣化を防ぎ安全を確保するため、清掃には指定されたものをご使用ください。スプレータイプのクリーナーは、引火や爆発の危険がありますので、絶対に使用しないでください。



装置の清掃および保守、故障の処置を行う場合は、電源をオフにし、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずに装置の清掃や保守を行うと、感電の原因となるおそれがあります。

安全にご利用いただくために



連休などで長期間、装置をご使用にならないときは、安全のために電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化による感電や漏電火災の原因となるおそれがあります。



機械の安全スイッチを無効にしないでください。機械の安全スイッチに磁気を帯びたマグネット類を近づけないでください。機械が作動状態になる場合があり、ケガや感電の原因となるおそれがあります。



装置に貼ってあるラベルの警告や説明には必ず従ってください。

## 警告および注意ラベルの貼り付け位置

本機器には、安全にお使いいただくために以下のような注意ラベルが貼ってあります。指示内容をよく読み、安全にご利用ください。



# 規制について

## 電磁波障害対策自主規制について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

## 受信障害について



ラジオの雑音、テレビなどの画面に発生するチラツキ、ゆがみがこの商品による影響と思われましたら、この商品の電源スイッチをいったん切ってください。電源スイッチを切ることにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次の方法を組み合わせて障害を防止してください。

- 本機とラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる。
- 本機とラジオやテレビ双方の距離を離してみる。
- この商品とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる。
- 受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる。(アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください。)
- ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。

## 高調波電流抑制対策について

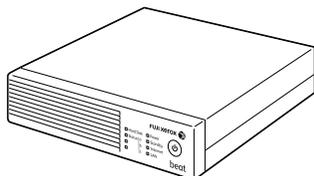
本機器は JIS C 61000-3-2(高調波電流発生限度値) に適合しています。

# 同梱物の確認

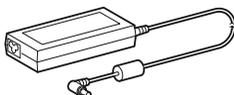
---

---

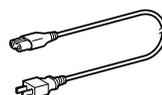
ご使用になる前に、同梱物がすべて揃っているかご確認ください。万一、不足や破損しているものがある場合は、beat コンタクトセンター（P.27 参照）へご連絡ください。



beat-box-mini2



電源アダプター (1.8m)



電源コード (2m)



イーサネットケーブル(青色)  
(5m)



イーサネットケーブル(黄色)  
(5m)



beat-box-mini2 ユーザーズガイド  
(本書)

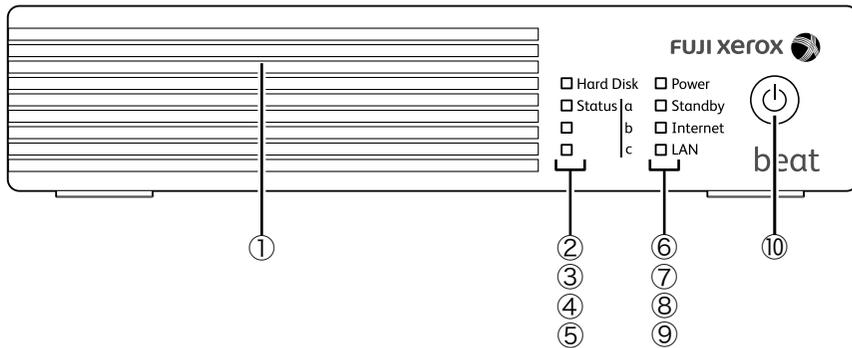


beat/entry サービス  
ユーザーズガイド (beat-box-mini2 用)

# 各部の名称と働き

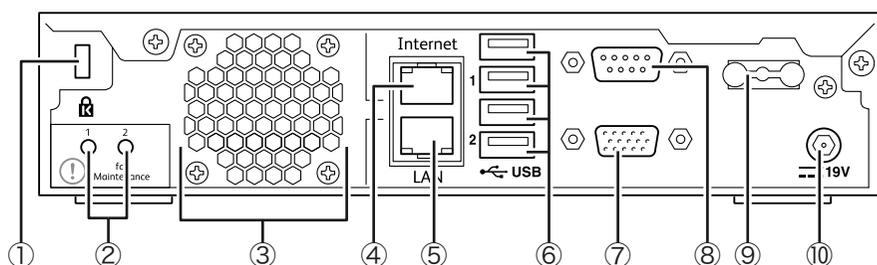
本機の各部の名称と働きについて説明します。

## 前面



- ① 給気口
- ② ハードディスクインジケータ  
内蔵ハードディスクのアクセス状態を表示します。
- ③④⑤ ステータスインジケータ  
本機器の稼働状態を表示します。詳細は「インジケータについて」(P.18)を参照してください。
- ⑥ 電源インジケータ  
本機器が稼働中は緑点灯します。詳細は「インジケータについて」(P.18)を参照してください。
- ⑦ スタンバイインジケータ  
背面に電源アダプターが差し込まれ、通電時に緑点灯します。システムが起動すると消灯します。詳細は「インジケータについて」(P.18)を参照してください。
- ⑧ イーサネットポート (Internet) インジケータ  
背面のイーサネットポート (Internet) の接続状態を表示します。接続中は緑点灯、通信中は緑点滅します。
- ⑨ イーサネットポート (LAN) インジケータ  
背面のイーサネットポート (LAN) の接続状態を表示します。接続中は緑点灯、通信中は緑点滅します。
- ⑩ 電源スイッチ  
本機器の電源オン、オフします。操作方法は、「電源オン・電源オフの方法」(P.21)を参照してください。

## 背面



### ① セキュリティー slots

盗難防止用セキュリティーケーブルを装着するためのスロットです。ケンジントン社が提唱している規格に準拠しているため、市販のケンジントンロック仕様のセキュリティーケーブルを使用することができます。

セキュリティーケーブルを装着すると、本機器の本体カバーを取り外せなくなるため、内蔵ハードディスクの盗難も防ぐことができます。

弊社または販売会社のエンジニアが本機器の保守作業を実施するときには、本体カバーを取り外す必要があります。事前にセキュリティーケーブルを外してください。

### ② メンテナンス用スイッチ

障害が発生したときに、beat コンタクトセンターから操作をお願いする場合があります。通常は操作しないでください。

### ③ 排気口

### ④ イーサネットポート (Internet)

付属のイーサネットケーブル (黄色) を使用して、本機器とルーターなどの既存のネットワーク機器を接続します。左上の LED は前面の「⑧イーサネットポート (Internet) インジケーター」と同じです。

### ⑤ イーサネットポート (LAN)

付属のイーサネットケーブル (青色) を使用して、本機器とハブや PC、または既存のネットワーク機器を接続します。左下の LED は前面の「⑨イーサネットポート (LAN) インジケーター」と同じです。

### ⑥ USB ポート

現在、本サービスでは使用しません。

### ⑦ ディスプレイポート

現在、本サービスでは使用しません。

### ⑧ シリアルポート

現在、本サービスでは使用しません。

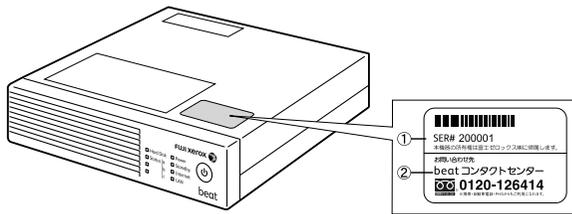
### ⑨ クランプ

電源プラグ抜けを防止するため、電源プラグを固定します。

### ⑩ 電源ジャック

付属の電源アダプターを差し込みます。本機に付属の電源アダプター以外は使用しないでください。

## 上面



- ① **シリアル番号**  
本機のシリアル番号です。シリアル番号は、SER#につづく6桁の数字です。
- ② **beat コンタクトセンターのご案内**  
beat コンタクトセンターは、本機の操作方法が不明な場合、障害が発生した場合のお問い合わせ窓口です。

 **参照**

「お問い合わせ窓口「beat コンタクトセンター」」(P.27)

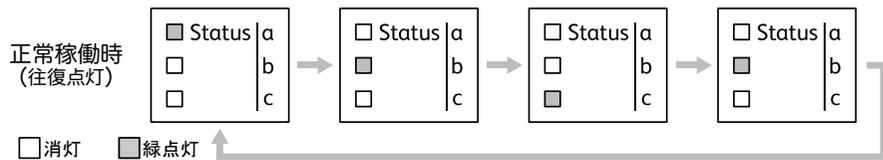
# インジケータについて

前面のインジケータで動作状況を確認する方法を説明します。

## インジケータ

前面にある 8 つのインジケータで本機器の動作状態を表します。

正常稼働時は、ステータスインジケータ a、b、c は下図のように緑点灯が上下に往復します（往復点灯）。



## インジケータが表す動作状態と対処方法

起動中やエラー発生時などには、下表のように 5 つのインジケータの組み合わせにより、動作状態を表します。エラー発生時には「お願いしたい対処方法」の実施をお願いします。

インジケータ

<input type="checkbox"/> Hard Disk	<input type="checkbox"/> Power
<input type="checkbox"/> Status a	<input type="checkbox"/> Standby
<input type="checkbox"/> b	<input type="checkbox"/> Internet
<input type="checkbox"/> c	<input type="checkbox"/> LAN

Power 電源	Standby スタンバイ	Status ステータス			動作状況	お願いしたい対処方法
		a	b	c		
消灯 <input type="checkbox"/>	緑点灯 <input checked="" type="checkbox"/>	緑点滅 <input checked="" type="checkbox"/>	消灯 <input type="checkbox"/>	消灯 <input type="checkbox"/>	システム管理用コントローラー起動中	システム管理用コントローラーが起動するまで、そのままお待ちください。起動完了後、スタンバイ状態になります。15 分以上ステータスインジケータ a の点滅が続く場合は、beat コンタクトセンターへご連絡ください。

Power 電源	Standby スタンバイ	Status ステータス			動作状況	お願いしたい対処方法
		a	b	c		
消灯 □	緑点灯 ■	消灯 □	消灯 □	消灯 □	スタンバイ状態	起動するときは電源スイッチを押してください。
		消灯 □	消灯 □	橙点滅 ■	室温が使用環境範囲外のため、スタンバイ状態	室温を使用環境範囲内（約 5 ～ 35 ℃）にして、電源をオンにしてください。
		消灯 □	橙点滅 ■	橙点滅 ■	ファイルシステムの障害	beat コンタクトセンターへご連絡ください。
		上記以外			ハードウェア障害	beat コンタクトセンターへご連絡ください。
緑点灯 ■	緑点灯 ■	消灯 □	消灯 □	消灯 □	シャットダウン中	シャットダウンが完了するまで、そのままお待ちください。15 分以上経過しても、電源インジケータが消灯しない場合は、beat コンタクトセンターへご連絡ください。
		緑点灯 ■	消灯 □	緑点灯 ■	ファイルシステムの検査中	ファイルシステムの検査が完了するまで、しばらくお待ちください。20 分以上この表示が続く場合は、beat コンタクトセンターへご連絡ください。
		上記以外			beat サービスの起動中	起動するまで、そのままお待ちください。15 分以上経過しても、スタンバイインジケータが消灯しない場合は、beat コンタクトセンターへご連絡ください。
緑点灯 ■	消灯 □	消灯 □	緑点灯 ■	消灯 □	本機よりインターネット側にあるネットワーク機器の障害 <sup>*1</sup>	回線終端装置（ADSL モデム、ONU など）またはルーターを再起動し、10 分ほど様子を見てください。 復旧しない場合は、いったん本機器を電源オフしてから、10 秒待って電源オンし、再度 10 分ほど様子を見てください <sup>*2</sup> 。 それでも回復しない場合は、beat コンタクトセンターへご連絡ください <sup>*3</sup> 。
		消灯 □	緑点灯 ■	緑点灯 ■	セットアップ時のソフトウェア更新中	セットアップ時のソフトウェア更新中です。ソフトウェアの更新に要する時間は、お客様がご利用になられている環境の回線速度に依存します。60 分以上この状態が続く場合は、beat コンタクトセンターへご連絡ください。ソフトウェア更新中でもメールや Web 閲覧などは行えますが、セキュリティー機能はまだ働いていません。ソフトウェアの更新が完了して正常稼働（往復点灯）が始まると、セキュリティー機能が開始されます。セットアップ中にソフトウェアの更新が完了し、往復点灯になることがあります。

## インジケータについて

Power 電源	Standby スタンバイ	Status ステータス			動作状況	お願いしたい対処方法
		a	b	c		
		緑点灯 □	消灯 □	消灯 □	イーサネットポートの接続不良	イーサネットケーブルが接続されていること、ルーターやハブの電源が入っていることを確認してください。
		橙点滅 ■	緑点灯 ■	緑点灯 ■	セットアップ時のソフトウェア更新の障害	beat コンタクトセンターへご連絡ください。
		緑点灯 □	緑点灯 ■	橙点滅 ■	イーサネットポートの故障	beat コンタクトセンターへご連絡ください。

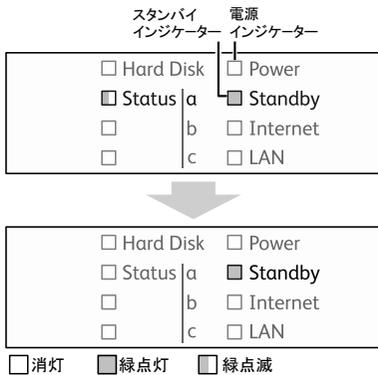
- \*1 セットアップ時に、自動ネットワーク接続が確立されなかった場合も含まれます。
- \*2 beat 設定ページから本機器を再起動することもできます。詳しくはオンラインヘルプをご覧ください。
- \*3 障害情報などを確認するため、ご利用の回線提供元やプロバイダー（ISP）についてお聞きする場合があります。

# 電源オン・電源オフの方法

## 電源オンの方法

### 操作手順

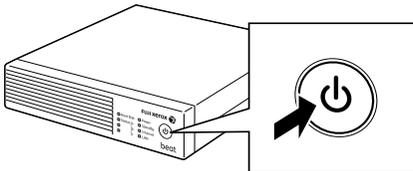
- 1 電源アダプターを差し込むと、スタンバイインジケータが点灯し、ステータスインジケータ a が緑点滅します（このときに、一時的に他のインジケータが点滅する場合がありますが、問題ありません）。



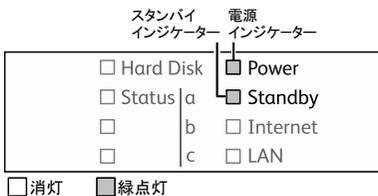
約 1 分で、完了して、スタンバイインジケータのみが点灯します。

緑点灯していない場合は、背面の電源ジャックに電源アダプターが正しく差し込まれていることを確認してください。

- 2 スタンバイインジケータが緑点灯していることを確認します。
- 3 電源スイッチを押します。



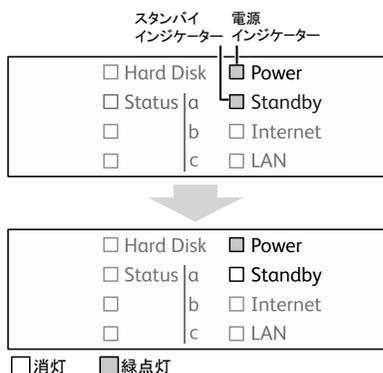
スタンバイインジケータと電源インジケータが緑点灯になります。



### 補足

電源をオフにしてから、次に電源をオンにするまでの間は、10 秒以上の間隔を空けてください。

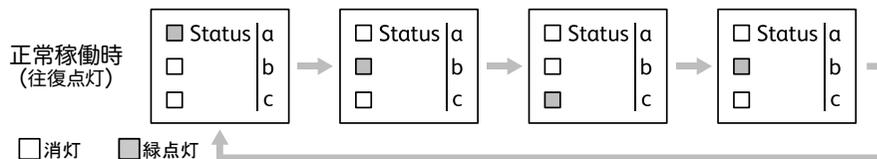
#### 4 スタンバイインジケータが緑点灯から消灯になるまで、しばらくお待ちください。



#### 補足

15分以上経過しても、スタンバイインジケータが消灯しない場合は、beat コンタクトセンターへご連絡ください。

起動が完了し正常稼働が始まると、ステータスインジケータ a、b、c は下図のように緑点灯が上下に往復します。

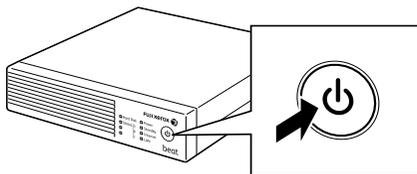


## 電源オフの方法

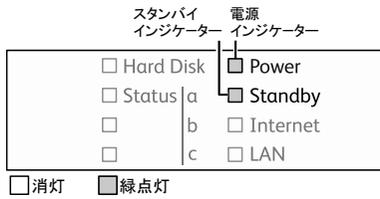
電源オフの方法には電源スイッチの操作により行うものと、beat 設定ページから行うものの 2 種類があります。本書では電源スイッチの操作により行う方法を説明します。

#### 操作手順

##### 1 電源スイッチを押します。



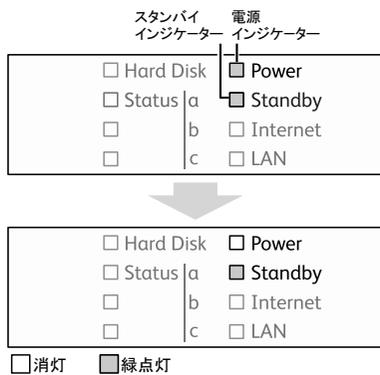
即座にシャットダウンが開始されます。  
スタンバイインジケータが緑点灯になります。



補足

15分以上経過しても、電源インジケータが点灯している場合は、beat コンタクトセンターへご連絡ください。

**2** シャットダウンが完了すると、電源インジケータが消灯し、スタンバイインジケータが緑点灯になります。必ず電源インジケータが消灯したことを確認してください。



補足

背面の電源ジャックから電源アダプターを外すと、スタンバイインジケータが消灯します。

## 主な仕様

### beat-box-mini2

項目	仕様
インターフェイス/ ネットワーク	1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T × 2
インジケーター	電源、スタンバイ、ハードディスク、ステータス × 3、LAN × 2
電源	電圧：AC100V ± 10%、1.5A@AC100V、 50/60Hz 共用 最大消費電力：70W
サイズ	本体：205 (W) × 220 (D) × 44.5 (H) mm (ゴム足および突起部を含まず) 設置の際は、前面 100mm、背面 100mm 以上のスペースを必要とします。
重量	本体：1.7kg (電源アダプター除く)
使用環境	温度：5 ~ 35℃ 湿度：20 ~ 80%

# 索引

---

## 英数字

beat コンタクトセンターのご案内 .....	17
USB ポート .....	16

## あ

イーサネットポート (Internet) .....	16
イーサネットポート (Internet) インジケータ .....	15
イーサネットポート (LAN) .....	16
イーサネットポート (LAN) インジケータ .....	15
インジケータ .....	18
インジケータが表す動作状態と対処方法 ...	18
インジケータについて .....	18
主な仕様 .....	24

## か

各部の名称と働き .....	15
給気口 .....	15
クランプ .....	16

## さ

シリアル番号 .....	17
シリアルポート .....	16
スタンバイインジケータ .....	15
ステータスインジケータ .....	15
セキュリティスロット .....	16

## た

ディスプレイポート .....	16
電源インジケータ .....	15
電源オフ .....	22
電源オン .....	21
電源ジャック .....	16
電源スイッチ .....	15

## は

ハードディスクインジケータ .....	15
排気口 .....	16

## ま

メンテナンス用スイッチ .....	16
-------------------	----



# お問い合わせ窓口「beat コンタクトセンター」

## beat コンタクトセンター

電話 0120-126414

FAX 045-650-7666

Web <http://www.net-beat.com/support/>  
お客様サポートサイト「お問い合わせ」より

受付時間

8:00～21:00 (平日)

9:00～18:00 (土曜、日曜、祝日、  
12月31日～1月3日)

※beatコンタクトセンターからのご連絡は  
9:00以降とさせていただきます。

### 事前にご用意ください

お問い合わせには、本機のシリアル番号が必要です。シリアル番号 (SER# から始まる 6 桁の数字) は、本機上面に記載されていますので、お問い合わせの前にご確認ください。  
シリアル番号の記載場所 ⇒ 17 ページ

### お問い合わせ時にお知らせください

迅速な解決のために、お問い合わせ時には次の内容をわかる範囲でお知らせください。

- 1) お客様の会社名、氏名、連絡先 (住所、電話番号など)
- 2) 使用している PC の OS
- 3) インジケータの点灯状態
- 4) 現在の状態 (エラーメッセージやその状態になったときの操作内容)

お問い合わせやご依頼の内容を正確に把握するため、また後に対応状況を確認するため、通話を録音させていただきます場合がございます。あらかじめご了承ください。

beat コンタクトセンターでは、本サービス以外のお問い合わせ (PC やソフトウェアの操作、接続機器などの設置・設定など) につきましては、お答えできかねますので購入先の販売店・メーカーのサポートセンターへお問い合わせください。また、日本国外からのお問い合わせや、日本国外での利用に関するお問い合わせにはお答えできません。

beat コンタクトセンターでは、beat-noc (ネットワークオペレーションセンター) からお客様の利用環境に関する障害情報を取得した場合に、お客様に対して障害発生の報告と状況確認のために電話にてご連絡することがあります。

## beat-box-mini2 ユーザーズガイド

著作者 — 富士ゼロックス株式会社

発行年月 — 2013年 6月 第1版

発行者 — 富士ゼロックス株式会社

(管理 No. MT3425J1-1)

Printed in Japan

beat

beat-box-mini2

ユーザーズガイド



EMA0015309-A

2013年 6月 1版

管理No. MT3425J1-1